

令和6年度指定管理者モニタリング外部評価結果

施設名	関市道の駅むげ川
-----	----------

選定方法	特定者氏名	
------	-------	--

外部評価

3	水準をきちんと満たしている
---	---------------

コメント

- ・売上増に向けてさらに取り組んでいただきたい。
- ・厳しい状況の中、費用を抑え努力がみられる。
- ・小中学生との交流・イベントなど地域活動を積極的に行っている。
- ・1年間を通して安定して来場者がある。

令和5年度 指定管理者モニタリング結果票

施 設 名	関市道の駅むげ川
所 在 地	関市武芸川町跡部 1 8 1 0 番地
指定管理者	株式会社 むげ川
担 当 部 課	産業経済部 観光課
指 定 期 間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 3 1 日（5 年間）

1 総合評価

施設の運営管理については、道の駅の設置目的を達成するために適正な施設管理が行われ、全従業員が十分理解して、各事業の実施や施設の安全管理・衛生管理を行い、それぞれの役割の中でよりよいサービスの提供に心掛け、道の駅むげ川のイメージアップに努めていると感じた。

経営状況については、新型コロナウイルス感染症の影響が続いたこと、建物改修工事による休業によって来客者数が減少したことでの収入減、物価高騰により売上原価が上がったことによる営業利益が減少したことなど、様々な要因が生じたため、営業損失が大きくマイナスに転じた。

今後、経営の分析を行い、売り上げが伸びていくような方策により、経営の健全化・安定化が図られるよう引き続き事業運営に努力されたい。

以上のことから、施設の設置目的の遂行のため真摯に向きあっている姿勢が窺われ、総合的に判断して、経営面においては課題はあるが、今後も施設利用者の利便性の向上と事業の充実による利用促進のための一層の取組を期待したい。

2 合目的性・公平性・効果性(施設の目的との合致、市民の平等利用の確保、施設の効用発揮)

一般道路の利用者に対し、休憩の場及び道路情報等を提供するとともに、地域の産業の振興と経済の発展、ふれあいと交流の促進を図る拠点という施設の目的を十分理解し、各事業やサービスの提供を行うとともに、施設・設備の保守点検や清掃等を確実に行的っており、安全面・衛生面も適正に管理運営されていた。

令和4年4月から令和4年12月まで建物改修工事を行い、令和5年2月25日（土）にプレオープン、3月4日（土）からリニューアルオープンした。

さらに、岐阜県（美濃土木事務所）において、令和5年11月から令和6年4月まで、「道の駅むげ川道路施設防災機能強化工事」としてトイレ改修工事を行った。

これらの事業効果により、多くの市民及び来場者が利用しやすい施設となったことから、農林産物直売所をはじめ各施設の利便性とサービスの向上に努めている。

3 機能性・独創性(事業への具体的な取組方)

「再び訪れたくなる道の駅」を目標に、引き続き、パン工房の設置、敬老の日にはミニイベントの開催やリニューアル記念の周年イベントなど、工夫を凝らした事業に取り組んでいる。

今後も、販売する商品の品揃えを充実させるほか、イベントを定期的に開催するなど、地域の方々をはじめ多くの来場者が立ち寄る魅力ある道の駅となることを期待したい。

4 責任性・実効性(施設の運営体制・組織)

施設の運営、維持管理等のため、適正な人員配置になっている。

「むげ川農林産物直売所」を有効活用した管理運営を中心として、「道の駅むげ川」の施設運営全般に対して、従業員、スタッフ全員が責任感をもって行っている。

5 安定性・安全性(管理の安定性と安全管理、緊急時等での対応)

(株) むげ川の従業員は、利用者へのマナー教育、品質・衛生管理及び緊急・救急対応に関する研修、観光案内勉強会に参加するとともに、内部ミーティングを定期的実施し、利用者からの様々な意見や情報を共有するなど、その成果を日頃から実践している。

「道の駅むげ川安全管理マニュアル・衛生管理マニュアル」を作成し、「施設の安全」「飲食の安全」「農産物の安全」のトリプルセーフティーの確保を図っており、災害時等の緊急事態に備え、施設内で発生する事態を想定した避難訓練等を実施し、誘導対応手順等の確認を行うなど、適切に対応されていた。

6 社会性・貢献性(地域への貢献、環境への配慮等)

武芸川地域や周辺地域の農林水産物や特産品・採れたて野菜などの仕入れ・販売を行うことによって、地域や生産者に還元できるよう努めている。

なお、平成29年10月から毎月第4水曜日に開催していた「子ども食堂」は、コロナの影響や建物改修工事等で休止していたが、令和5年4月から再開している。

また、小学生の施設見学や武芸川中学校2年生の職場体験学習の受け入れ、敬老の日のミニイベント等を開催するなど地域に貢献している。

環境面としては、施設・トイレ・駐車場など敷地内の清掃・点検の励行や施設から排出されるごみの分別を徹底して行うなど、全従業員が共通認識をもって衛生環境の維持に取り組んでいる。

7 効率性・経済性(経費縮減と収入の増加対策)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続いたことや建物改修工事に伴う長期休業による収入減となったことなどにより、運営収益が大幅なマイナスに転じている。

これらの状況を踏まえ、仕入れや販売にかかる費用縮減に努めており、収入面（売上高）では、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことや改修工事が完成し利便性が向上したことなどにより、来客者数の増加にともない売り上げが伸びている。景気回復にともなう消費の盛り上がりを増収に繋げられるよう、創意工夫を凝らした方策による集客増加と収入増加にあわせて、支出面において、更なる経費削減に努められ、経営の健全化・安定化が図られることを期待したい。

8 経営の健全性

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、来客数が増加することを期待していたが、経営面においては、新型コロナの影響や令和4年度の施設改修による長期休業等の要因もあり収入減となった。

さらに施設改修に伴う行政財産目的外使用料の増加も影響し、営業損失が生じた。それらの影響が続いている状況にはあるが、コロナ過も収束している中で人々の動きも活発になり、コロナ過前の状況に戻りつつあるため、令和5年度の売上は増加している。

今後、仕入や販売費及び一般管理費などの支出の見直しを行い、運営状況の健全化・安定化に努め円滑な事業運営となることを期待したい。

9 課題・業務改善への考え方

施設の運営管理については、事業計画に基づいて施設の保守点検・保安管理・衛生管理等がなされており、運営管理が適切になされていた。

経営面については、新型コロナウイルス感染症の影響が続いたことなど様々な要因により、収支決算書では損失額が大きい状況が続いている。

このような状況ではあるが、経営の健全化・安定化のため改善を図り、施設運営に対して経費削減のため創意工夫に努められ、売上げ増額や営業利益の増加に向けた対策を行うとともに、先を見越した施設運営と充実した取り組みをお願いしたい。

今後も、施設の運営にあたっては、指定管理者と市で随時連絡調整をとり連携を密にして、適正な管理運営に努めていきたい。

過去3か年の運営状況

施 設 名	関市道の駅 むげ川
指定管理者	株式会社 むげ川
担 当 部 署	産業経済部 観光課

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)		132,728	59,609	185,739
収入	収入額(円)	4,107,000	4,107,000	4,107,000
	うち市からの指定管理料(円)	4,107,000	4,107,000	4,107,000
	他の主な収入内容	営業収入	営業収入	営業収入
	使用料の受入先	指定管理者	○	
	(どちらかに○)	市		
支出	支出額(円)	3,977,830	4,691,662	5,063,868
	主な支出内容	維持管理経費	維持管理経費	維持管理経費
差引	差引(円)	129,170	-584,662	-956,868
	損益の処理方法	指定管理者	○	()
	(どちらかに○)	その他(具体的に)		
職員数	職員数(人)	27	30	31
	内パート等の人数(人)	24	27	28